


コース	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ(主任・副師長)	師長
レベルの定	看護実践するために、指導を必要とするレベル	自律的に、日常看護業務を遂行出来る 新人指導が出来るレベル	看護モデルとなり、後輩を育成出来るレベル	専門的な看護実践と指導的役割を發揮し、部署の目標達成に貢献出来るレベル	部署及びスタッフの目標達成を促進し、主任・副師長業務が出来るレベル	看護局の方針に基づき、自部署の目標達成に向けて担当部署を運営できる
看護実践能力	<ul style="list-style-type: none"> * マニュアル又は、指導を受けながら看護を実践する * 生活の援助行為 <ul style="list-style-type: none"> → 新人チェックリスト使用 * 診療の補助行為 <ul style="list-style-type: none"> → 各部署指定用紙使用 * 患者、家族に対する指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者の理解を確かめながら・検査、処置などの説明が出来る ・ 指導を受けながら、患者・家族に指導が出来る * 記録 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導を受けながら、看護実践が正確に記録出来る ・ 各書類の記録方法を理解出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 自律的に看護を実践する * 生活の援助行為 <ul style="list-style-type: none"> ・ 疾患・障害・行われている医療処置に応じた生活援助が、安全・安楽に実施出来る * 診療の補助行為 <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者の症状や反応を観察し、バイタルサイン・検査値・水分バランスなどの正常・異常を判断し、即座に報告・対処出来る ・ 当該部署の特殊な処置の実施・介助が出来る ・ 当該部署の特殊なME機器が使用出来る ・ 支援を受けながら、緊急事態に対応出来る * 患者、家族に対する指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護計画に沿い、自立して患者、家族指導が出来る * 記録 <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護実践が正確に記録出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 看護モデルとなり、後輩を指導出来る * 生活の援助行為 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活の援助に際して、他部門と連携をとりながら、適切なケアが提供出来る ・ 複数の合併症やチューブドレーン類のある患者の援助行為が出来る * 診療の補助行為 <ul style="list-style-type: none"> ・ 潜在的な問題を予測しながら、診療補助やモニタリングし、その結果を的確に査定し、対処出来る ・ 緊急事態発生時、迅速に対応出来る * 患者、家族に対する指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者のライフスタイルを考慮し、患者、家族のニーズに沿って具体的な指導が出来る * 看護記録 <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護問題に対し、洞察と解決をもたらす様な記録が出来る * 患者に提供されている看護ケアの質の評価について意見を述べる事が出来る * 後輩の動きに注意を払い、必要時支援が出来る * 患者のニーズとスタッフの能力を考慮し、業務配分出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 看護の質を査定すると共に、質向上に向けて部下を支援出来る * 生活の援助行為 <ul style="list-style-type: none"> ・ 複雑なME機器装着中、あるいは重篤状態にある患者に対して、対象の反応や状況に応じた柔軟な対応、援助が出来る ・ 多様なアプローチを組み入れた患者ケア計画に沿って、患者ケアが実践出来る * 診療の補助行為 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高度の判断と技術を要する診療補助が、的確に行う事が出来る ・ 緊急事態発生時、迅速に対応し、リーダーシップが發揮出来る * 患者、家族に対する指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者、家族の反応を評価しながら個別的な指導が出来る * 看護記録 <ul style="list-style-type: none"> ・ 複雑な患者ケアの問題に対し、洞察と解決をもたらすような記録が出来る * 患者に提供されている看護ケアの、質の評価が出来る * 患者ニーズとスタッフの能力を考慮に入れ業務配分でき、妥当性について評価出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 質の高い看護を継続的に提供する * 患者に商店をあてた看護サービスが実施されているか把握し指導 * 看護業務の内容、及び改善に向けての機能が円滑に行われているか把握、指導 * 看護基準の内容が遵守されているか、把握し指導 	
指導能力		<ul style="list-style-type: none"> * ブリセプターの役割を果たす事が出来る * 学生が行う基本的な援助について、指導・助言出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * ブリセプターのサポートを行なう事が出来る * 学生に看護過程の指導・助言が出来る 指導者と連携を図り、学生の指導が出来る * レベルⅠ・Ⅱのスタッフが各自の役割が發揮出来る様指導出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 学生に看護の視点をアドバイス出来る 学生のカンファレンスで適切な助言が出来る * レベルⅠ～Ⅲのスタッフが各自の役割が發揮出来る様指導出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 新人教育のプログラム作成、実施評価が出来る * 学生指導について中心的な役割を果たすことが出来る、実習評価が出来る * レベルⅠ～Ⅳのスタッフが各自の役割が發揮出来る様指導出来る 	
対人関係能力	<ul style="list-style-type: none"> * 社会人としてのマナーを身につけることが出来る(身だしなみ・言葉使い・挨拶・接遇) * 患者、家族と良い人間関係を築くことが出来る * 患者を尊重した接し方が出来る * 上司や、先輩の意見を謙虚に受け止めることが出来る * 自分の意見を伝えることが出来る * 協調性を持ち、メンバーシップが發揮出来る * 上司やスタッフ、他部門の職員とコミュニケーションを取ることが出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 患者・家族に対して思いやりと共感の気持ちを持って接する事が出来る * スタッフの特性を理解し、接することが出来る * 自分の考えを述べる事が出来る * 他部門の役割を理解し、協力し合う事が出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 問題行動のある患者に対し、柔軟に接することが出来る * スタッフ間の調整役が出来る * 後輩の悩みを聞き、適切なアドバイスが出来る * 医療従事者とアサーティブな関係をつくる事が出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 患者家族の背景を知り、臨機応変な対応が出来る * スタッフの能力を判断し、指導できる * 他部門との対応が柔軟に出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 患者家族が問題と受容していることを受容し、解決出来る * スタッフが成長できるための動機付け、支援が出来る * 他部門との良い関係を保ちながら交渉出来る 	
マネージメント能力	<ul style="list-style-type: none"> * 看護業務を確実に遂行出来る <ul style="list-style-type: none"> ・ コスト意識を持ち、業務を行うことが出来る ・ 自部署の環境、物品について気づいたことが報告出来る * 一日の行動計画を立てることが出来る * 使用物品の準備・後始末・整理が出来る * 緊急時の対応を理解し、指示された行動を取ることが出来る * メンバーシップが理解出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 看護業務を効率的に遂行出来る <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間の観念を持ち、業務に取り組む事が出来る ・ 時間内に業務を終える工夫が出来る ・ 常にコスト意識を持ち無駄を省く工夫が出来る ・ 自部署の環境・物品に気を配ることが出来る * 上司に的確に、報告・連絡・相談が出来る * 緊急時は患者の安全を第一に考え行動出来る * チームリーダーの役割が出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 看護業務の改善に向けて、創造的に活動出来る <ul style="list-style-type: none"> ・ 自部署の看護業務を把握し、改善と省略化にむけて取り組む事が出来る ・ 常にコスト意識を持ち、無駄を省く工夫が出来る ・ 自部署の環境・物品に対し、問題を明確にし、解決に向けて意見を述べる事が出来る * 業務の優先順位を決定出来る * 緊急時スタッフへ指示出来る <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全対策を実施評価し、指導出来る * リーダーシップを發揮出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 看護業務の改善に向けて、問題解決に取り組める <ul style="list-style-type: none"> ・ コスト意識を持ち、経済性の視点で評価でき、改善に向けて取り組むことが出来る ・ 自部署のスタッフに、時間とコストの意識づけが出来る ・ 患者の生活の場、職場環境のアメニティに留意し、問題解決に向けて行動出来る * 緊急時に関連部署に報告・指示が出来る * 主任業務を理解し、主任不在時は代行業務が出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 看護業務の改善に向けて、中心的な役割が出来る <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務量と内容を把握し、分析し、改善に向けて計画立案・実施、評価出来る ・ 業務マニュアルの作成、見直し、改善が出来る * 院内の委員会に参加して、部署に反映出来る * 部署の活性化を図るための、中心的な役割が出来る * 看護サービスを高めるために、看護業務を効率的に行う <ul style="list-style-type: none"> ・ ベッドを効率的に運用する ・ 看護業務を円滑にできるよう、他部門・他職種との業務の範囲や、分掌を明確にする ・ 医療資源を、ムリ・ムダ・ムラ無く活用できる * 師長業務を理解し、師長不在時は代行業務が出来る * スタッフと上司との調整役が出来る 	
研究能力	<ul style="list-style-type: none"> * 院内の研究発表に参加し雰囲気や流れを知事が出来る * 研究的視点で現場の看護を見ることが出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 研究の意義・目的を理解し、意識を高めることが出来る * 研究メンバーとして参加し、研究の進め方、まとめ方を理解することが出来る * ケーススタディー 1症例発表出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * グループの中でリーダーとして研究を進める事が出来る * 先行研究や文献から情報を収集し、臨床で活用出来る * 院内研究発表会で発表出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 研究テーマを持ち、院外で発表することが出来る * 研究を通して看護の専門性を、深める事が出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * スタッフに研究の指導・助言が出来る <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究計画書の書き方 ・ 原稿の書き方 ・ プレゼンテーションの方法 	
教育	<ul style="list-style-type: none"> * 部署の教育計画に参加し、専門領域の知識・技術を深める事が出来る * 自己の学習課題を明確にし、目標設定が出来る * 院内・院外の研修に参加する事が出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 部署の教育計画に積極的に参加出来る * 文献を読み、実践で活用し、看護観を表現出来る * 院内・院外の研修に主体的に参加する事が出来る * 研修会で学んだ事を、実践に活かす事が出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 部署の教育計画の企画・運営が出来る * 研修や文献学習で得た新しい知識・情報を提示出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 部署の教育計画を作成し、実施評価が出来る * 各部署にて研修の講師が出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * 院内研修で講師が出来る * 自己のキャリア開発に向けて自律的に活動出来る 	<ul style="list-style-type: none"> * スタッフを育成するための、教育プログラムを作成できる * 院内・院外で講師が出来る
研修	<ul style="list-style-type: none"> 《院内研修》 病院組織 プリセプターシッププログラム 基本的知識・技術 トピックス リフレッシュ 《院外研修》 ・ 滋賀県看護協会 レベルⅠ研修 	<ul style="list-style-type: none"> 《院内研修》 プリセプターシッププログラム 基本的知識・技術 ケーススタディ 看護実践に生かす看護論 トピックス リフレッシュ 《院外研修》 ・ 滋賀県看護協会 研究A 研究B レベルⅠ研修 	<ul style="list-style-type: none"> 《院内研修》 問題解決法(基本) 院内研究発表・・・実施 知識・技術 諸科学 専門領域 トピックス リフレッシュ 《院外研修》 滋賀県看護研究学会 滋賀県看護協会 レベルⅠ研修 	<ul style="list-style-type: none"> 《院内研修》 問題解決(管理) 知識・技術 諸科学 専門領域 トピックス リフレッシュ 《院外研修》 実習指導者講習会 近畿看護研究学会 滋賀県看護協会 レベルⅠ～Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> 《院内研修》 自己啓発 物品管理 人材育成 情報管理 トピックス リフレッシュ 《院外研修》 実習指導者講習会 ファーストレベル 日本看護研究学会 滋賀県看護協会 中間管理職Ⅱ～Ⅲ 日本看護協会 共通Ⅰ～Ⅲ 看護管理Ⅱ～Ⅳ 	<ul style="list-style-type: none"> 《院内研修》 自己啓発 物品管理 人材育成 情報管理 《院外研修》 ファーストレベル セカンドレベル